

見えないからこそ、いっそう読みたい



活字の読めない視覚障害者に、点字と録音の図書を提供しています



社会福祉法人

日本点字図書館

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1丁目23番4号

TEL (03) 3209-0241 FAX (03) 3204-5641 URL <http://www.nittento.or.jp> E-mail nitten@nittento.or.jp



「点字に指を走らせ、テープに耳を傾ける時だけは、目の不自由を忘れる。」これは、視覚障害者の実感です

映画、テレビ、インターネットによる動画配信… 私たちの身近にたくさんあるこれらの映像娯楽も、わが国30万人の視覚障害者は、それらを見て楽しむことができません。それだけに、「読書」の楽しさが占める割合は健常者以上です。

日本点字図書館は自ら本を製作し、無料で視覚障害者に貸し出す施設です

公共の図書館では、主に書店で販売されている図書を購入して貸し出しているのに対し、日本点字図書館では、点字図書と録音図書をボランティアの協力で自ら製作し、全国の視覚障害者に貸し出しています。

視覚障害者のみなさまに、さまざまなサービスを提供しています

人生の途上で視覚障害になった方のための点字教室、視覚障害者のためのパソコン教室、蔵書に無い専門分野の図書を読上げる専門対面リーディング、視覚障害者個人がお持ちの活字資料を点訳、または録音するプライベートサービス（東京都在住、在学、在勤者のみ）などのさまざまなサービスがあります。



スタジオでの録音



点字教室

日本点字図書館は、一個人が創設した日本最大の点字図書館です

当館は昭和15年11月10日、盲目の青年本間一夫が25歳の若さで創設しました。発足当時、点字図書はわずか700冊でした。長い年月のあいだ幾多の苦難を乗り越え、今では、全国の視覚障害者に年間約50万点の点字・録音図書や雑誌を提供する日本最大の点字図書館となりました。

当館の最大の問題は、何と言っても財政面です

当館は、視覚障害者にはなくてはならない施設ですが、国立でも公立でもなく、民間の一社会福祉法人です。事業費のうち公的委託金、補助金は20数パーセントに過ぎず、毎年、事業費の約20パーセントが個人および法人からの善意の尊いご寄付や、チャリティの催し物の純益金などで支えられているという大変苦しい経営を強いられております。

まことに恐縮ではございますが、私どもの事業の実情をご理解いただき、財政面へのご援助を賜りたく、心よりお願い申し上げます。



創設者 本間一夫
(平成15年没)

ご支援のお願い

「見える幸せ、読めるよろこび」のごく一部を視覚障害者のためにわけてください

当館へのご寄付は、特定公益増進法人に対する寄付として、一定の要件の下に税制上の優遇措置を受けられます。個人は所得控除を、法人は法人税法により損金参入が認められています。

■ 個人・企業の寄付

銀行振込・ゆうちょ銀行から任意の金額をご送金いただく方法です。ご連絡をいただければ、振込用紙をお送りいたします。

■ ワンブックプレゼント

図書の製作には1タイトルにつき約10万円必要です。企業や個人の方からその費用をご寄付いただき、贈り主のお名前を各図書に明記させていただくものです。

■ 募金箱の設置

社内や店舗内に募金箱を設置していただく方法です。1円でも10円でも、社会福祉に役立てたい。その温かなお心が集まると、大きな力になります。

■ リユースパソコンのご寄贈

当館にとってパソコンの維持費は大きな負担となっています。中古パソコンをリユース処理した後に、ご寄贈いただくご支援方法です。主に、パソコン点訳用として使用させていただきます。

■ その他

企業がそれぞれの得意な分野で当館の事業の一部をご支援いただく方法です。

(たとえば、機材や録音メディアのご提供、広報誌の印刷、マッチングギフト、クリック募金へのご協力など)



録音図書



募金箱

お問い合わせは

社会福祉法人日本点字図書館 総務部庶務課まで

TEL : 03-3209-0241 FAX : 03-3204-5641 E-mail : nitten@nittento.or.jp



視覚障害者の読書を支えてください

 社会福祉法人
日本点字図書館



「ロクホシくん」

点字と同じ6つの点があるてんとう虫が、点字の本から飛び出すことをイメージした当館のキャラクターです。全盲のイラストレーター エム ナマエ氏のデザインです。